

# 議会議会だより おおぞら

## CONTENTS

議会新体制が決定 .....	2
3月定例会、予算審査特別委員会を開催 .....	4
議員3名が一般質問 .....	9
①上地議員 マイナンバーカードの取り組みについて	
②鈴木議員 持続可能な介護提供体制について	
③森賀議員 小中一貫教育における取り組みについて	



  
No.80

OZORA  
GIKAI DAYORI  
[発行日]  
令和8年(2026年)6月30日

大空に  
人花心  
育むまち

# 第6期 大空町議会 新たな体制が発足

4月13日に当選証書付与式が行われ、新しい12名の大空町議会議員が選出されました。第2回大空町議会臨時会（4月23日開催）において、議長、副議長、各委員会の構成が決定しました。

## 議長に 後藤 忍 議員を選出 副議長は 松岡 克美 議員



【総務厚生常任委員会】

大泉知功 委員 川村 淳 委員  
森賀祐司 副委員長 岩原 繁 委員長 上地史隆 委員



【産業建設文教常任委員会】

仲西政克 委員 深川 昇 委員 原本哲己 委員  
鈴木秀之 副委員長 福田淳一 委員長 松岡克美 委員



【議会広報常任委員会】

大泉知功 委員 川村 淳 委員  
仲西政克 副委員長 上地史隆 委員長 岩原 繁 委員



【議会運営委員会】

福田淳一 委員 上地史隆 委員  
原本哲己 副委員長 鈴木秀之 委員長 岩原 繁 委員



ごとう しのお  
後藤 忍  
議長  
斜網地区廃棄物処理組合議会議員



まつおか かつみ  
松岡 克美  
副議長  
産業建設文教常任委員会委員



ふかがわ のぼる  
深川 昇  
産業建設文教常任委員会委員  
網走地区消防組合議会議員



はらもと てつみ  
原本 哲己  
議会選出監査委員  
議会運営委員会副委員長  
産業建設文教常任委員会委員



うえち ふみたか  
上地 史隆  
議会広報常任委員会委員長  
議会運営委員会委員  
総務厚生常任委員会委員



いわはら しげる  
岩原 繁  
総務厚生常任委員会委員長  
議会運営委員会委員  
議会広報常任委員会委員  
斜網地区廃棄物処理組合議会議員



すずき ひでゆき  
鈴木 秀之  
議会運営委員会委員長  
産業建設文教常任委員会副委員長



もりか ゆうじ  
森賀 祐司  
総務厚生常任委員会副委員長  
網走地区消防組合議会議員



ふくだ じゅんいち  
福田 淳一  
産業建設文教常任委員会委員長  
議会運営委員会委員



かわむら じゅん  
川村 淳  
総務厚生常任委員会委員  
議会広報常任委員会委員  
網走地区消防組合議会議員



おおいずみ ともりのり  
大泉 知功  
総務厚生常任委員会委員  
議会広報常任委員会委員

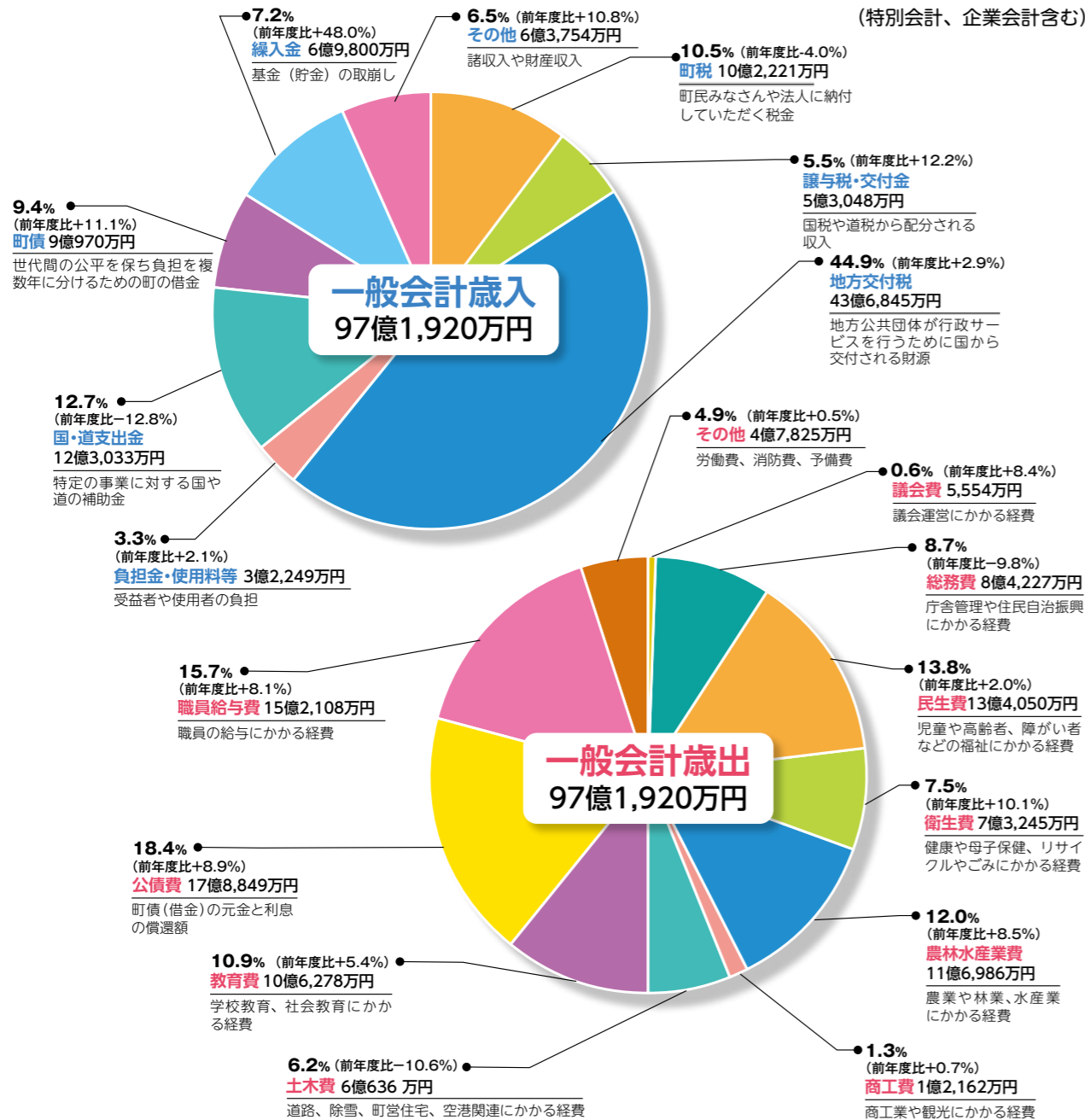


なかにし まさかつ  
仲西 政克  
議会広報常任委員会副委員長  
産業建設文教常任委員会委員  
網走地区消防組合議会議員

# 物価高等の影響により過去最大の予算規模!

～ 令和8年度 予算審査特別委員会 ～

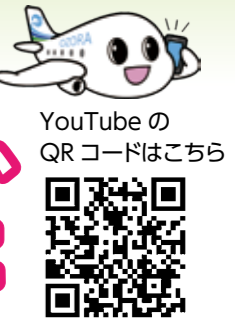
## 新年度予算 総額 129 億 4,566 万円 を可決



令和8年第1回定例会に提案された令和8年度大空町各会計予算は、議会に「予算審査特別委員会」を設置し、慎重に審議しました。審議の結果、提案内容のとおり可決すべきものと決定し、議員全員の賛成により可決されました。本特別委員会での総括質疑・答弁の概要をお知らせします。 ※内容は要約しております。詳細は、両地区図書館または議会HPの「会議録」をご覧ください。

令和8年  
**3月定例会**  
3月4日～11日

# 令和7年度一般会計予算から 2億6,327万円を減額補正し、 総額は98億760万円に



定例会

### 人事案件

人権擁護委員に河崎琢哉氏、坂巻重子氏、岸田陽子氏が推薦され、適任と答申しました。また、教育委員会委員に矢浪亜由美氏が任命、オホーツク町村公平委員会委員に舟木淳次氏が選任され、同意しました。

### 和解及び損害賠償

町有車両に起因して発生した交通事故に対する和解及び損害賠償の額について可決しました。

### 条例制定・一部改正

大空町企業版ふるさと納税基金条例制定、大空町企業振興促進条例の一部を改正する条例制定など2条例の一部改正について、可決しました。

### 補正予算

令和7年度一般会計のほか、3特別会計・3企業会計の補正予算について審議し、可決しました。

### 地域公共交通対策事業

上地議員

### 問

金について、利用者が増加したことにより増額補正したいとのことだが、どのような経緯で増加したのか詳細について伺う。

### まちづくり推進室

JR北海道の特急利用者に対して行っている助成です。冬の観光時期の利用など過去の実績などを考慮して、今後不足が見込まれることから増額補正の提案をさせていただいたところです。

### 中小企業振興資金利子補給金

後藤議員

### 問

利子補給金50万円の増額というのは、かなりの投資かと思えます。どのような資金の使っているのか伺う。

### 課長

この補給金は、中小企業の運転資金と設備投資に係る借り入れの利子などを支援する

### ものです。内容としては、

運転資金が35件、設備投資で25件助成する予定です。新規については、運転資金11件、設備投資4件を予定しています。

### 一般廃棄物焼却処理施設管理運営費

鈴木議員

### 問

ごみ焼却施設ダイオキシン検査業務委託料が減額となっているが、きちんと検査をした上での減額ということで大丈夫なのか状況について伺う。

### 課長

減額については、入札における執行残のため、業務は問題なく執行されています。

### 後期高齢者保健事業

岩原議員

### 問

後期高齢者健康診査委託料が増額となっているが、みなし健診についてもこの委託料に入っているのか伺う。

### 課長

健診の実績については、令和6年度185件、令和7年度見

### 計画の策定

現行の計画が令和7年度で終了する大空町過疎地域持続的発展市町村計画について、引き続き財政上の優遇措置等を活用していくため、令和8年度から令和12年度までの計画を新たに策定することについて、可決しました。

### 条例制定・一部改正

大空町社会教育センター条例制定、大空町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定など4条例の一部改正について、可決しました。

### 要望意見書

「生産現場に寄り添った農業政策を求める要望意見書」について可決しました。

### 哀悼の意を表し

3月11日に東日本大震災で犠牲となられた方々に哀悼の意を表し、黙とうを捧げました。



## ◎一般会計歳入

### 売電収入について

岩原委員

**問** オホーツク東部広域農業水利管理協議会では、排水機場の売電収入があり、光熱費について賄っている仕組みだと思ふ。ゼロカーボンの推進に向け、各公共施設の管理については、同様の対策に取り組まないといけないと考えるが、今後の方向性について伺う。

### 産議

本郷排水機場に国の太陽光発電が設置されています。本郷排水機場の電気料すべてを賄っているわけではないが、売電収入を充てている状況です。

### まちづくり推進室

今年度、ゾーニング計画を策定するため、再生可能エネルギーの活用を促進するエリア、景観や生活環境を守る抑制エリアなどについて、現在、パブリックコメントをしているところです。

## 有害鳥獣駆除推進事業について

上地委員

**問** 市町村の判断で、緊急猟銃を市街地で行うということですが、準備時間や安全確認には課題があるとのことでした。また、緊急猟銃に対応できる経験者が少ないという課題もありました。春期捕獲についても危惧されている方もいますが、どのように考えているか伺う。

### 産議

緊急猟銃制度は、令和7年9月から改正鳥獣保護管理法に基づき開始されました。大空町ではヒグマが該当しますが、人の日常生活圏に危険鳥獣が出没した場合、安全確保等の一定の条件下で市町村の判断により、銃器を使用した捕獲ができる制度です。ハンターに依頼して、万が一物損事故が発生した場合のために保険料を計上しています。一物損につき3,000万円の上限です。

令和8年4月1日から取り組む予定で、6月上旬頃に机上訓練を行う予定です。また、ヒグマの春期管理捕獲は北海道が実施する支援制度で、2つの目的があります。まずは、出没の抑制をすること。次に経験の浅いハンターが熟練者から技術を学ぶ機会を確保する人材育成です。こちらは、令和9年2月に実施する予定としています。

こと、また、今後の施設の在り方を考えると、経常経費の抑制の観点から再生可能エネルギーの活用について、内部で検討しているところです。

## ◎一般会計歳出

### 医療体制の整備について

鈴木委員

**問** 網走厚生病院に関して、健診や受診の関係における脳神経外科診療体制整備負担金が計上されています。脳ドックを推進することにより市民の健康増進、また、厚生病院の脳神経外科診療の経営にいい意味で影響を与えると考えるが、どのような考えを持っているのか伺う。

### 福祉課長

網走厚生病院脳神経外科の赤字補填を斜網地区の1市4町で支援しています。脳ドックの収入も網走厚生病院脳神経外科に対してはプラスになると考えます。健康を維持するという観点からも、多くの市民の方に脳ドックを受けていただきたいという思いも

ありますが、受け入れられるキャパシティもありませんので、網走厚生病院脳神経外科と十分に調整を行っていきたくと考えています。

## ◎一般会計歳出

### 網走刑務所住吉作業所用地活用事業について

森賀委員

**問** 企業版ふるさと納税を原資として行う事業で、圃場を利用して試験栽培などを行うということだが、事業化が成功すれば、町にとっても重要になると考えます。町として何か協力することを考えているのか伺う。

### まちづくり推進室

町としても、住吉里山再生委員会の事務局がある中で、土地の使用料や圃場整備に関して応援したいと考えています。

また、今後、網走刑務所との連携もより深めていき、受刑者の方に応援を頼むなど、地域活性化と再犯防止を進めていくため、各部署と調整していきたくと考えています。



網走刑務所住吉作業所圃場

## 社会教育センター改修工事について

福田委員

**問** 大空高等学校女満別キャンパスを社会教育センターとして利用する改修工事ですが、駐車場の位置が校舎東側のことでした。体育館側には駐車場がないことと、体育館側の方は大きな木も生い茂っていて景観もよくないので、体育館側に駐車場の位置を変更できないか伺う。

### 生涯学習課

現在、体育館側ではなく校舎側で検討しています。木が生い茂っているのは、校舎側も同様で、木の伐採も予定しています。

校舎側の方がスペース的に広いということ、また、今後、大きなイベント等も踏まえ、バスの駐車場も検討しているため、現状では、校舎側に駐車場整備をすることで考えています。

### 町長

町営住宅は低所得者のための住宅であるため、整備は町がしなければならぬという判断を進めてきました。地域の集会所、公民館等は、地域住民の方の活動の場でもあり、夏場はかなり暑いのではと推察しますが、町営住宅と公民館の整備は全く違う考え方ですので、今現在、公民館における整備は考えていません。



女満別キャンパスの駐車場

## 公民館について

後藤委員

**問** 夏季は北海道も高温多湿が続く、生活に影響が出ています。公民館にはエアコンもなため暑くて使いづらいとの声を聞きます。以前町営住宅の生活環境改善として、エアコン設置に

## ◎総括質疑

川村委員

**問** 高校の受験が終わりました。大空高校も1.3倍の倍率でしたが、残念ながら地元の子は少なめだと聞いています。今後の課題として、地元の子を増やすことを考えるべきだと思ふ。例えば、公設塾に地元の中学生を通わせることはできないかと考えます。また、高校生は、地元の食と触れ合う機会が少ないと聞いています。小・中学校でも提供されているふるさと給食を月に1回でもいいので有償でも高校生に提供することはできないか、見解を伺う。

また、ふるさと給食の大空高校生への提供については、学校給食は、学校給食法に基づき児童生徒の心身の健全な発達と食に関する正しい理解を育み、学校給食の普及、充実に及ぶ学校における食育の推進を図ることを目的としていることから、昼食ではないことをご理解いただきたいと思ふ。道外から入学した大空高校生に対して、ふるさと給食を通じて、

### 教養

公設塾は、大空高校の魅力化のため、大空高校に入学した生徒が利用できる学習塾として運営しており、現時点において、中学生を常時通わせるよう拡大することは、運営体制や設置目的の観点から難しいと考えています。

一方、地元の中学生に



用途廃止となった公園公住

### 町長

割と広い面積があるのですが、様々な可能性が考えられると思ふ。都市計画上の用途指定がある土地でもあり、それらも踏まえながら様々な活用について検討していきたいと考えています。

陽光発電基地を作りましたが、大空町の公共施設もかなり電気代がかかっています。町の公共施設も含めた一部の電気を補うということも、選択肢の中の一つとしてあってもいいのではないかと思ふが、考えがあれば伺う。

## ◎総括質疑

川村委員

**問** 高校の受験が終わりました。大空高校も1.3倍の倍率でしたが、残念ながら地元の子は少なめだと聞いています。今後の課題として、地元の子を増やすことを考えるべきだと思ふ。例えば、公設塾に地元の中学生を通わせることはできないかと考えます。また、高校生は、地元の食と触れ合う機会が少ないと聞いています。小・中学校でも提供されているふるさと給食を月に1回でもいいので有償でも高校生に提供することはできないか、見解を伺う。

また、ふるさと給食の大空高校生への提供については、学校給食は、学校給食法に基づき児童生徒の心身の健全な発達と食に関する正しい理解を育み、学校給食の普及、充実に及ぶ学校における食育の推進を図ることを目的としていることから、昼食ではないことをご理解いただきたいと思ふ。道外から入学した大空高校生に対して、ふるさと給食を通じて、

### 教養

公設塾は、大空高校の魅力化のため、大空高校に入学した生徒が利用できる学習塾として運営しており、現時点において、中学生を常時通わせるよう拡大することは、運営体制や設置目的の観点から難しいと考えています。

一方、地元の中学生に



ふるさと給食

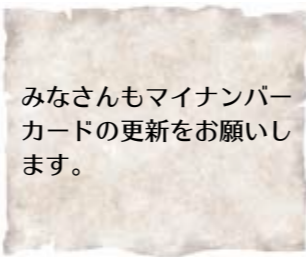


# マイナンバーカードの 取り組みについて

うえち しみたか  
上地 史隆 議員



上地議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。



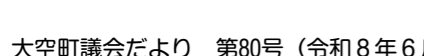
**問** マイナンバーカードの交付は2016年から始まり、この間、政府は多くの分野で利用拡大を図り、カードを使った税の申告やコンビニでの証明書の交付、金融機関の口座開設など官民のオンライン手続等も行えるようにしました。また、従来の保険証を令和7年12月2日からマイナンバーカードとする仕組みに本格移行も進められました。そのような取り組みを行ったこともあり、政府は令和7年12月5日にマイナンバーカードの全国民の保有枚数が初めて1億枚を突破したことを発表しました。全人口に対する割合は80.3%になりましたが、保険証機能を持たせたマイナ保険証の利用は低迷しており、医療機関などでの利用率は37.1%にとどまるなどの課題等も発生しております。大空町の現状について伺う。

**町長** マイナンバーカードは、本人確認書類としての利用のほか、行政手続の簡素化、医療分野での利便性の向上のため、様々な活用がなされていきます。当初は個人情報漏えいへの不安などから、なかなか進まなかった交付は、国によるマイナポイント事業の実施や、これまでの健康保険証からマイナ保険証への移行などの利用拡大により徐々に普及が進んでいる状況です。本町のマイナンバーカード交付状況ですが、令和8年1月末現在、人口6,273人に対し、5,294枚を交付し、交付率は84.4%です。なお、1月末現在、北海道の交付率は79.8%、全国では81.2%という状況です。

次に、マイナンバーカードの機能と受けられるサービスについてです。マイナンバーカードは、

**問** これから有効期間の満了により更新する方が増えてくると思います。その中で課題となるのが、意外と申請が煩雑であり、手続が難しい方もいます。オンラインの環境がある人はいいですが、身近な窓口は自治体です。この対応がいかんかればいけないと思えますが。

**町長** マイナンバーカードの有効期限を迎える方は、有効期間の満了する日までの期間が3か月未満になった日から更新が可能であり、国から送付される有効期限通知書にある、交付申請用QRコードからのオンライン申請、または、市町村窓口において、申請手続をすることができます。さらに、令和7年10月からは、救急現場において、救急隊員が傷病者の受診歴や薬剤情報などをとくに、搬送先医療機関の選定などに役立つ情報を把握することにより、救急業務の円滑化を目指す取り組みができるようになりました。



マイナンバーカード

## マイナンバーカードの更新について 町長▼窓口でもしっかりと対応していきたい

### 町長

現在は、多課に渡り課題が複数して

**問** 自治基本条例の関係について、町民自治推進委員に検証をしてもらう機会を設けることでした。どのように行政が推進されているか外部評価をしてもらうこと、また、自治基本条例にどう対応していたかという内部評価も行っていいのではないかと考えています。今回の予算説明においても、行政内部での各課連携を密にして進める必要があると感じます。町長の強いリーダーシップの中で、職員との連携、各課の連携を密にする、また、職員研修の充実や情報収集機会の充実について、今後、どのような観点で進めていく方針なのか伺う。

**町長** ふるさと会は、大空町外に居住する女満別地区、東藻琴地区出身の方が会員相互の親睦を図るとともに、大空町との交流を深め、まちづくりの支援を行うことを目的として活動されていると思うが、ふるさと会の現状、また、大空高

**後藤委員** ふるさと会は、大空町外に居住する女満別地区、東藻琴地区出身の方が会員相互の親睦を図るとともに、大空町との交流を深め、まちづくりの支援を行うことを目的として活動されていると思うが、ふるさと会の現状、また、大空高

**町長** ふるさと会は、会員の高齢化があり、女満別地区のふるさと会はすでに解散、東藻琴地区のふるさと会も、活動が難しい状況になっていきます。大空高校生を主体とし



**町長** 当然、このイラン情勢が長引くようであれば、エネルギー価格等の影響は避けては通れないものと考えています。そのような情勢を見極めながら、必要に応じて指定管理料や各施設の委託料について光熱費等の見直しは行っていかないと考えています。現状は、しっかりとその情勢、また、国の動向を逐次把握しながら対応していきたいと考えています。

**自治基本条例について** 鈴木委員  
自治基本条例の関係について、町民自治推進委員に検証をしてもらう機会を設けることでした。どのように行政が推進されているか外部評価をしてもらうこと、また、自治基本条例にどう対応していたかという内部評価も行っていいのではないかと考えています。今回の予算説明においても、行政内部での各課連携を密にして進める必要があると感じます。

**問** 研修については、情報化の時代になって、自分で実際に見たり聞いたりする研修はインターネットでは得られない肌感覚や熱量を感じることができると思います。職員に研修する機会を与えるとともに、職員自らこのような研修に参加したいという提案制度もあるのでは、研鑽できるような体制を引き続き行っていく必要があると考えます。

**総合支所長** 現在組織があるのは、東京東藻琴会と札幌大空町東藻琴会になります。しかし、両会とも、感染症蔓延防止対策を機に、令和2年から活動を休止し現在に至っています。今年、東京東藻琴会の役員に会い、今後の活動について確認したところ、会員の高齢化により活動の継続が難しい状況から、令和8年度に懇親会を行い、一区切りすることと調整していると説明を受けました。また、札幌大空町東藻琴会は、役員等の高齢化により開催が難しいとのことでした。

**問** 大空高校は、4月から開校6年目を迎えることとなります。3月1日には、32名の卒業生が飛行機人となり羽ばたきました。卒業生が増加していく中で、同窓生相互の情報交換を行うほか、第2の故郷として大空町の動向を伝え、まちづくりやまちの活性化などに対する情報交換も行っていく発展的なふるさと会を行うことも今後検討してもよいのではと考えますが、見解を伺う。

たふるさと会ができるのであれば、町として協力するべきだと思っております。卒業生は、大空高校を飛び立った飛行機人です。自らの考えの中で組織し、大空町と意見交換をしたいという場ができれば協力したいと思えます。行政側から会を作るという考え方は、大空高校の生徒には似合わないと思うので、大空高校を卒業した立派な飛行機人たちの意見を尊重した中で考えていきたいと思えます。

**問** イラン情勢の関係で、ガソリン価格の高騰や、関連する電気・ガス等の高騰などの課題があると思えます。自治体の課題としては、公共施設の管理運営で、電気料などが上がれば協議をしていかなければならないという中で、燃料費や光熱費については、今の社会情勢の前の積算根拠の金額だと思えます。今後、住民生活にも影響を与える可能性もあるのでは、見解を伺う。

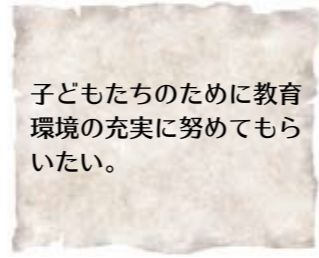


# 小中一貫教育における 取り組みについて

もりか ゆうじ  
森賀 祐司 議員



森賀議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。



子どもたちのために教育環境の充実に努めてもらいたい。

**教育長** 義務教育学校の利点としては、一般的に小学生、中学生が同じ校舎で学ぶことから、児童・生徒が日常的に交流できる環境、異学年の交流が行いやすい環境にあります。一方で、施設整備に係る財政負担や学校環境が大きく変わることから、小学校での卒業式、中学校では入学式という説明がないなど、環境変化への配慮が課題と

**問** 既存の校舎の利用方法と将来の学校整備に関しての考え方を伺う。一つ目として、義務教育学校と小中一貫校の違いとメリット、デメリットについて。二つ目として、東藻琴小学校、東藻琴中学校、女満別中学校は供用開始から相当年数が経過しています。今後、どの施設を利用、あるいは新たな場所への建て替え新築などを考えているのか伺う。

東藻琴小学校は築55年、東藻琴中学校は築54年、並びに女満別中学校は築52年と校舎の供用開始から相当年数が経過していますが、各学校は大規模改修工事を実施しており、教育委員会としては、施設を一体化するための建て替え、新築、校舎統合について考えていません。

小中一貫校では、今ある環境を維持するため、各学校がこれまで歩んできた伝統や文化を大切にしながら、既存施設を活用し、小学校、中学校それぞれの発達段階に応じた教育の質の向上を図ることができると考えています。課題としては、学校組織が別々になるので、連絡調整会議など、教職員業務負担が増えやすいといった傾向があります。

現在、中学校の教員が小学校の学芸会に向けて、専門的な立場から、器楽合奏指導を行う乗り入れ事業を実施しており、指導後の児童の演奏が格段に向上したという効果も発揮されています。学習面においても、中学校の教員が小学校にて専門教科の指導を行うことで、

**問** 小中一貫教育を進めていく中で、小学校・中学校で行われている運動会や学芸会などの学校行事を一つにしていく考えはあるのか伺う。

大空町の児童・生徒は減少傾向にあることから、両地区の児童・生徒が交流を深めることは、互いの視野を広げる観点からも非常に意義あることと認識しています。子どもたちにとって、効果的な交流の在り方やICTを活用した事業交流など、

**問** 両地区の児童・生徒の交流は、どのように行われているのか。



東藻琴小学校  
(平成27・28年度大規模改修)

**町長** 学校施設の整備については、児童・生徒の推移、財政見通し、施設の老朽化の状況等を総合的に勘案して、地域や保護者のご意見を踏まえつつ、慎重に判断をしていく必要があると考えています。既存の施設を有効活用しながら、教育内容の充実に重点を置いて進めてまいりますので、建て替え新築についての予定は現在持っておりません。将来を見据えつつ、持続可能な行財政運営のもとで、最適な教育環境の確保に努めていきます。

# 小中二貫校と既存校舎の利用または新築について

## 教育長 ▼ 大規模改修済みのため新築の考えはない

**問** 既存の校舎の利用方法と将来の学校整備に関しての考え方を伺う。一つ目として、義務教育学校と小中一貫校の違いとメリット、デメリットについて。二つ目として、東藻琴小学校、東藻琴中学校、女満別中学校は供用開始から相当年数が経過しています。今後、どの施設を利用、あるいは新たな場所への建て替え新築などを考えているのか伺う。

小中一貫校では、今ある環境を維持するため、各学校がこれまで歩んできた伝統や文化を大切にしながら、既存施設を活用し、小学校、中学校それぞれの発達段階に応じた教育の質の向上を図ることができると考えています。課題としては、学校組織が別々になるので、連絡調整会議など、教職員業務負担が増えやすいといった傾向があります。

**問** 小中一貫教育を進めていく中で、小学校・中学校で行われている運動会や学芸会などの学校行事を一つにしていく考えはあるのか伺う。

大空町の児童・生徒は減少傾向にあることから、両地区の児童・生徒が交流を深めることは、互いの視野を広げる観点からも非常に意義あることと認識しています。子どもたちにとって、効果的な交流の在り方やICTを活用した事業交流など、

**町長** 学校施設の整備については、児童・生徒の推移、財政見通し、施設の老朽化の状況等を総合的に勘案して、地域や保護者のご意見を踏まえつつ、慎重に判断をしていく必要があると考えています。既存の施設を有効活用しながら、教育内容の充実に重点を置いて進めてまいりますので、建て替え新築についての予定は現在持っておりません。将来を見据えつつ、持続可能な行財政運営のもとで、最適な教育環境の確保に努めていきます。

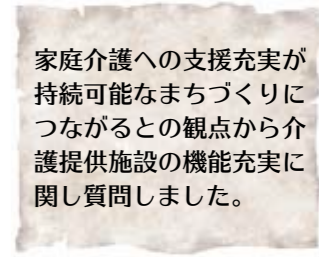


# 持続可能な介護提供体制 について

すずき ひでゆき  
鈴木 秀之 議員



鈴木議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。



家庭介護への支援充実が持続可能なまちづくりにつながるとの観点から介護提供施設の機能充実に関し質問しました。

# 在宅・生活支援体制充実に向けた施設機能充実と連携強化を 町長 ▼ 関係機関と連携し介護・医療体制の維持・充実に努める

**問** 町内の二つの特別養護老人ホームは、地域の高齢者福祉を支える重要な拠点として役割を担っていますが、近年、介護人材の確保が難しく、ショートステイ利用の調整や施設運営の厳しさなど、従来と同じ形での運営継続に課題が生じていると聞いています。

**町長** 65歳以上人口は既に減少に転じ、今後は介護サービス利用者も減少すると見込まれます。一方で、最大の課題は介護人材の不足であり、今後さらに深刻化すると認識しています。詳細な分析は次期介護

**問** 特別養護老人ホームを核とした介護体制の中で、ショートステイの利用制限が在宅介護に影響を及ぼしています。施設・在宅・生活支援を一体的に捉えた体制整備と、両施設の連携強化に向けた調査・検討を進める必要があります。施設・在宅サービス・生活支援体制の将来展望について伺う。

**町長** 町内では、特養を中心にショートステイやデイサービス、ヘルパーステーションなどの在宅サービスも展開し、



特別養護老人ホーム・デイサービスセンター

福祉サービスを提供していただいています。事業所間のネットワーク強化や人材の有効活用に向けた役割分担は重要であり、二つの社会福祉法人の連携についても行政が橋渡し役となって検討を進めていきたいと考えています。

また、人口減少と介護人材不足を踏まえ、町として適正規模を見極め、場合によっては施設規模の見直しも含めた検討が必要と認識しており、職員の研修や先進地調査を通じて施策に反映していきたいと考えています。

**問** 行政が主体となり、持続可能な介護体制について事業者や住民を交えた検討の場を設け、地域全体で支える介護体制の構築を進める必要があります。また、それぞれの地域にある施設の役割分担や機能充実強化を図り、地域で住み続けら

**問** 介護提供機関と行政の連携強化が必要であり、地域福祉計画や介護保険事業計画に基づく施策の着実な推進が効果的な行政運営につながり、持続可能なまちづくりにつながります。介護提供環境整備への町長

行政が主体となり、持続可能な介護体制について事業者や住民を交えた検討の場を設け、地域全体で支える介護体制の構築を進める必要があります。また、それぞれの地域にある施設の役割分担や機能充実強化を図り、地域で住み続けら

るための介護体制の構築が持続可能なまちづくりにつながると思うが見解を伺う。

**町長** 新たな組織設置ではなく、地域ケア会議や地域包括支援センター運営協議会を活用し議論を進めていきます。また、施設の役割分担については、各法人の経営への影響も踏まえながら協議する必要があります。さらに、地域の介護体制を構築する条件として、根本的には介護報酬の在り方が重要であり、国への働きかけも必要と認識しています。

**町長** 介護提供体制の充実、そして医療提供体制をしっかりと守っていくことが、大空町で安心して住み続けられる基盤づくりにつながります。これからも福祉法人の方々と意見交換をしながら、介護・医療体制の維持、充実に努めていきます。

# Voice 町民の声を募集しています

議会だよりの裏表紙に、「町民の声」として、町民の方の議会に対する思いや考えなどを掲載しており、寄稿いただける方を募集しています。

令和8年4月23日より、大空町議会の新たな体制が始まりました。

より、町民の方々に親しんでいただけるような広報活動やふれあいの機会を設けていきたいと思っています。

ぜひ、皆さんの思いを「町民の声」としてお聞かせいただき、町民の方々にもお伝えできればと考えていますので、お気軽にお声がけください。

問い合わせ先：大空町議会事務局 TEL0152-77-8106

## 「有料広告」を募集しています！

議会だよりの裏表紙に、「有料広告」として、民間事業者等の広告を募集しています。議会だよりは、年4回、町内全世帯に配布しています。

広告料は、大空町内に本店・支店・営業所等などを持つ企業、個人、団体が、1回3,000円、それ以外の(町外)企業、個人、団体は、1回5,000円となっています。

お店や施設、産地直売、団体等の会員募集など、「有料広告」の掲載希望がありましたら、議会事務局までご連絡をお願いします。

問い合わせ先

大空町議会事務局 TEL0152-77-8106

## 食堂 ひがしもこと

私たちは牧場で牛を育て、精肉店で肉を届けています。

その命の物語を、一番近くで味わえる場所がない。

だから始めました。

牧場の牛、精肉店の肉、そして東藻琴の食材。

すべてを一皿に込めた、小さなランチ食堂です。

テーマは「牛と肉と人をつなぐ」

この町で生まれた命が、この町の人を元気にする。

そんな場所を、この東藻琴に作りたい。

オホーツクに来たら寄ってください。

食堂ひがしもこと

検索

大空町東藻琴318-5



※民間企業からの有料広告を掲載しています。

## 編集後記

議会だよりをご覧いただきありがとうございます。今号から新たな広報委員会で編集をさせていただきます。慣れていないこともあり、読みづらい部分もあるかもしれませんが、お気づきの点がありましたら、ご意見をいただきたいと思います。

議会の活動はなかなか見えにくい部分があると思いますが、出来るだけ分かりやすく、身近に感じていただけるように伝えたいと考えています。

これからも開かれた議会を目指し、広報委員一丸となって分かりやすい紙面づくりに努めてまいりますので、皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。

議会広報常任委員会

(上地)

私たちが編集しました

議長 後藤 忍(発行責任者)  
副委員長 仲西政克  
委員 川村 淳  
委員 岩原 繁  
委員 大泉知功

今後ともよろしくお願いたします。

UD FONT

議会だよりの「おぞら」  
第80号

本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。

発行/大空町議会  
編集/議会広報常任委員会  
印刷/株式会社須田製版

住所/〒099-2392 北海道網走郡大空町女満別西3条4丁目1番1号  
TEL(0152)77-8106 FAX(0152)74-2191  
ホームページ http://www.town.ozora.hokkaido.jp

